

平成22年度
第1回 温海地域審議会
会議録（概要）

期日：平成22年7月1日（木）

場所：鶴岡市温海庁舎 6階大会議室

平成22年度 第1回温海地域審議会 会議録（概要）

○期 日 平成22年7月1日（木）午後2時～

○場 所 鶴岡市温海庁舎 6階大会議室

○出席委員 本間文夫委員、佐藤重夫委員、本間澄男委員、本間満委員
柴田実委員、三浦仁委員、五十嵐孝昭委員、三浦哲哉委員
佐々木真人委員、五十嵐良介委員、佐藤美代子委員、劔持孝一委員
五十嵐英夫委員、鈴木義一委員、斎藤徹委員、佐藤容介委員
五十嵐淳子委員

○欠席委員 斎藤守峰委員、榎本五郎治委員、五十嵐安貴委員

○市側出席者

副市長

〈温海庁舎〉

支所長 五十嵐收一

総務課長 伊藤彦市、市民福祉課長 五十嵐金悟、税務市民主幹 本間敏廣

産業課長 本間新一、観光商工主幹 粕谷一豊、建設環境課長 庄司又兵衛

教育課長 鈴木金右エ門、総務課課長補佐 富樫達男

総務課総務地域振興主査 三浦市樹、総務課総務地域振興主査 白幡俊

総務課調整主任 本間克秀

〈本 所〉

企画部長 小林貢、農林水産部次長 田中和也

地域活性化推進室長 吉住光正、調整課長 永壽祥司

地域活性化推進室係長 粕谷一郎、地域活性化推進室主任 飯野剛

— 辞令交付 —

1. 開 会

2. あいさつ

3. 委員紹介

（市側出席者自己紹介）

4. 会長・副会長の選出

○総務課長 会長・副会長の選出に入ります。合併協議書第6条第1項の規定によりまして、会長・副会長は委員の互選によることとなっております。いかがお取り計らいしたらよろしいでしょうか。

○三浦仁委員 事務局に原案があれば出していただいで、それから決めていいのではないのでしょうか。

○総務課長 ただいま、事務局提案との発言がございましたので、こちらの方からご推薦させていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○総務課長 会長に本間文夫委員、副会長に佐藤重夫委員をご推薦いたします。本間文夫委員から会長、佐藤重夫委員から副会長ということでご異議ございませんか。

(異議なし)

○総務課長 ご異議ございませんでしたので、本間文夫委員が会長に、佐藤重夫委員が副会長に決定いたしました。これより会長に議長をお願いしまして、議事を進めていただきますと思いますので、よろしくお願ひします。

○本間文夫委員 (就任あいさつ)

5. 報告 (議長：本間文夫会長)

- (1) 平成22年度予算及び主な事業の概要について
- (2) 地域課題調査等の取り組みについて

○本間文夫会長 それでは5番の報告に入らせていただきます。(1)(2)は関連しますので一括して報告し、その後質疑を行います。それでは事務局より説明してください。

(市所長及び各課より報告)

○本間文夫会長 それでは、質疑に入る前に事務局より説明があります。

○総務課長 今回、みなさんに地域審議会の協議テーマをご依頼申し上げましたところ、8名の委員より10件の提案が出されました。そのうち別紙1のとおり要望や質問等がありましたので、担当課長より説明します。

○産業課長 別紙1の地域森林林業の再生による働き場・雇用の確保については市全体の一つの課題ととらえております。昭和55年以降木材価格が低迷し、従事者の高齢化や林業に対する意欲の低下により、林業の管理が行き届かずに荒廃し、森林境界が不明確な森林も見受けられます。その中で、間伐は森林組合が県補助金を受けて民有林の間伐を行う造林事業、県の総合交付金の間伐事業などを活用して取り組んできました。今後、美しい森林づくり基盤整備交付金などを活用し、市が平成20年度から5カ年間の特定間伐等促進計画の目標1,800ヘクタールに向けてさらに間伐を推進してまいります。

市の総合計画や3ヵ年の実施計画の中で、森林組合が行っている間伐や作業道の開設、高性能の機械の導入による森林施業、及び生産基盤の整備に支援しております。さらには林道開設、地産地消の家づくり支援、製材施設の整備の導入への支援、公共施設の整備への地域産材の活用などの施策を進めております。ご提案の協議テーマについては、林業振興プロジェクト「つるおかの森再生計画」の実現を目指して市全体として関係機関、関係団体と連携を密にして進めてまいります。

○建設環境課長 日沿道に関連する県道の交通量は、国土交通省酒田河川国道事務所の平成23年予想で1日当たり8,000台としております。主要地方道余目温海線の7号タッチの建設では交通量を十分に考慮した安全対策が計画されております。主要地方道余目温海線のT字路から小学校間は車道・歩道ともに幅員が十分に確保されていることから、縁石により歩道と車道を区分することで安全対策がなされております。T字路は暫定的に信号機が設置されておられません。鶴岡警察署では平成23年度計画に要望するそうですが、日沿道の開通前に設置されるのか、開通後の状況をみて設置されるかは、公安委員会の判断によることとなります。

案内標識は道路建設の原因者が設置することから、7号タッチは県が設置します。他のインターチェンジに関連する箇所も含めて酒田河川国道事務所が設置箇所・表示内容の原案作成をし、その後に県と市で検討します。国道7号には漢字の温海温泉の表示があり、比較的新しく設置された消防温海分署前及び国道345号の標識にはひらがなのあつみ温泉という表示があります。また、温海温泉インターチェンジと温海温泉では温海の表示がダブルことは、温海温泉インターチェンジは施設名、温海温泉は地名なので、二つ併記されるような解釈もありますが、ご指摘を十分に考慮して検討にあたりたい。7号タッチの図面ですが、工事用の図面であれば提示できます。

供用開始時のオープンイベントは当然あると理解しております。現時点ではどこが主催するのもも含めて検討段階に入っておりません。開通の時期によって、開通式前に道路全線が使用できるかという問題もあり、イベントの検討に入りましたら地域の思いを反映できるように努力してまいります。

温海温泉自治会の花壇整備ですが、県のマイロードサポート事業により実施をして

いただいております、そちらの方での対応をよろしくお願いいたします。

○**観光商工主幹** 羽越しな布の1について、消費者が国指定伝統的工芸品として目を向けていること、関川住民の誇りと自信につながったことが大きいと思います。しな織の従事者も自覚して製品づくりに励み、品質管理委員会を開催して良質なしな織の生産に努めております。また、国の指定に基づいたしな布の振興計画が認定され、国と県から合わせて約180万円の補助金を受けながら各種事業を進めております。

経済効果は、製品のブランド化という点では指定後の方が確実に良くなっていますが、伝産指定のメリットが出てくるにはある程度の時間がかかると思います。しな織協同組合の販売実績は、消費動向が安いものへと流れる中で、しな織製品は高級品と思われ買い控えの傾向があると聞いております。しかしながら、ぬくもり館の店頭販売高は前年を上回る実績を上げています。

後継者の育成は非常に難しい問題です。関川しな織協同組合では専務理事と事務員が空席の状態、組合長がその任を担っていたために組合長の大きな負担になっています。4月に専任の事務員が決まりましたが、専務理事は地元関川からの人選にこだわっており、適任者がいるようですが、本人の事情で補充されていません。「しな績み」の育成の件ですが、後継の従事者も出てきているようです。財団法人全国伝統的工芸品センターの伝統工芸士認定事業の「しな績み」部門で山北地区と関川地区で5名くらい育成したいと、学科試験と実技試験の受験に向けて取り組んでいるそうです。

しな織協同組合では研修生の受入れを平成8年から始めており、今年度で第10期生になります。研修生を迎えることで、しな織組合はもちろん自治会の活動にも大きなプラスになっているようです。若い研修生のしな織への意欲的な取り組みが地元の女性の大きな刺激になっていることは大きな効果です。研修期間終了後も関川に残ってしな織の業務に携われる環境整備が大きな課題と捉えております。

現状の販売方法で良いのかということですが、基本的には地元での販売に重点を置いていくと組合では考えているようです。もちろん県内外の販売も必要であり、商品開発も含めて販路拡大に向けて組合自身が自ら取り組んでいくものと考えますが、委員の方から具体的なアドバイスがあれば後ほどお聞きしたい。

関川だけでなくもっと地域住民も興味を持って協力すべきではということですが、地域の後押しがないとしな織だけでは大きな力にはなりませんので、地域からの大いなる協力を期待しております。

不安定な若者の雇用については、温海管内のみならず鶴岡市あるいは県、ひいては全国的にも共通する大きな問題と認識をしております。鶴岡管内のハローワークの一般求職者の有効求人倍率や新規高卒者の就職率などの数字は把握しておりますが、若者の派遣・契約・パート・臨時などの実際の数字は残念ながら把握できておりません。雇用は常に景気と連動するため、鶴岡市では昨年緊急経済対策本部を設置して、関係機関・団体と連携しながら雇用創出・就職支援あるいは中小企業に対する金融支援や

経済対策などを進めてまいりました。引き続き景気の回復、雇用の創出に向けた取り組みを強力に進めるとともに、中長期的な観点から安定した雇用の創出と確保する取り組みを進める必要がありますし、雇用の問題は市の総合計画にも重点施策として掲げておりますので、この件については鶴岡市全体で進めてまいりたい。

○産業課長 あつみかぶの生産量は、JAの取扱高で平成19年は157トン、販売金額では約2,900万円、平成20年は142トンで約2,630万円、平成21年は147トンで約2,600万円になっております。生産量はその年の気候等に左右され変動があります。温海地域の販売高はシイタケに次いでミョウガと並んでおります。

温海地域では転作田や畑での栽培ではなく、伐採後の山林や原野などの焼畑栽培がほとんどです。これはあつみかぶの歴史や生産に対する農家の誇りが影響していると思われます。一方では重労働と生産農家の高齢化と見合った収入の確保が困難なことなどにより、生産者は減少しております。地域独特の無肥料・無農薬の特別栽培かぶは、肥料を使う一般かぶよりも単価的に3割から4割ほど高く取り引されますが、反面、病気に弱く収量も一般かぶの7割ほどです。特別栽培は無肥料・無農薬が条件ですし、万が一農薬を使用すると特別栽培にならずに一般かぶの取り扱いになります。しかし、一般的に単価が高く、杉の伐採跡地で1ヘクタール以上の団地化を図り、栽培する農家を確保できれば、これまでどおり他地域にはない特栽培かぶの栽培に取り組んでいきたい。その際には、県の農業技術普及課やJAなど関係機関からご指導いただき、病気に強くそれなりの収量が見込める特栽培かぶを目指してまいりたい。温海地域以外で栽培されている赤かぶはJA温海支所に出荷されないので正確な生産量は把握できませんが、温海地域内で加工漬物販売している方の中にも温海地域外から生産された赤かぶを使っているということもあります。

このような中でJAを中心に新規販路開拓に取り組んでおります。行政としてもマスコミの取材などを積極的に引き受け、今後もPRしてまいりたい。首都圏をターゲットに消費拡大策を講じれば、それなりの販売先は確保できますが、個人の加工ロットで大手と取引するのは非常に難しいと感じております。漬物などの加工品は、旬の時期の秋から冬にかけての販売がブランド化に向けたイメージ戦略としては最も効果的だと思いますが、実態は大量に加工している農家を中心にほぼ通年販売の状況になっております。しかしながら、通年販売が農家収入の確保につながっていることから、季節販売と通年販売の効果を多角的に検証してみるのも必要と考えております。生産振興については、JAのあつみかぶ部会は出荷規格版を配布して、商品の規格統一を図っており、ほ場をは種後30日位で巡回をしております。

○本間文夫会長 それでは質疑に入ります。ただいま別紙1の報告についてご質問がある方はお願いします。

○総務課長 別紙1については私どもではテーマの提案というよりも要望意見等ととらえました。そのため、先に説明をさせていただきました。質疑等については先ほど申しました報告事項と併せましてお願いいたします。

○本間文夫会長 ただいまいろいろと報告事項がありましたが、それについて質問がある方、お願いします。ございませんか。

6. 協 議

(1) 地域審議会協議テーマについて

○本間文夫会長 6番の協議に入らせていただきます。地域審議会協議テーマについて事務局より説明をお願いします。

(副市長退席)

○本間文夫会長 それではよろしくをお願いします・

○総務課長 資料は別紙2になります。別紙2のとおり4人の委員から4件の提案をいただいております。この提案を参考に下記の3つのテーマにまとめました。この協議テーマは今後8月末から11月末までに2回ぐらい審議会を開催し、委員より意見・提言をいただいて、それらを集約して今後の市政に反映したいと思っております。

それでは提案いたします。協議テーマ1は「地域グループのネットワーク化」。この内容はイベントグループが互いに連携する中で新たな活力を生み出す方策を皆さんから検討していただきたい。協議テーマ2は「日沿道の利活用」。平成23年度に開通する日沿道には温海地域で2カ所のインターチェンジが整備されます。その高速道路網を利活用する方策を皆さんで検討していただきたい。協議テーマ3は「農林水産業の後継者づくり」。ここに掲載されているように後継者不足が課題になっております。今後、農林水産業の後継者さらには担い手づくりの方策について皆さんから検討していただきたい。以上の3つについて、皆さま方から提案されたものを参考に事務局として提案するものでございます。よろしく検討願います。

○本間文夫会長 それでは協議に入ります。皆さま方、ご意見ををお願いします。ご意見ございませんか。

○総務課長 皆さんイメージが湧かない感じがしますので、流れについて説明します。従来の地域審議会は主要事業を説明してそれに対して皆さんから意見をいただいております。今年は様々な地域課題やテーマに基づいて皆さんから幅広く意見をお伺いし

て今後の地域の活性化の参考にしたいと考えております。

今後、温海地域審議会ではテーマを設定していただきましたら、8月末に予定している次の審議会では事前に現状なり統計的な資料を準備して、皆さんから様々な方策を検討して意見を出していただきたい。その回数が2回になるのか、3回になるのかは、皆さんの意見の出具合よる予定にしております。

○本間文夫会長 総務課長さんから説明がありましたが、それを踏まえて皆さんご質問がありましたら、三浦仁委員お願いします。

○三浦仁委員 総務課長から具体的なものや数字的なものを出しながら検討するということでしたが、全員が同じ方法で3つの課題を毎回協議するのでしょうか。

○総務課長 分科会とか分散会という形はとらないで、今回のような形でテーマに沿って全員から意見を出してもらいたいと考えております。そのことについても皆さんから検討していただきたいと思います。

○本間文夫会長 三浦仁委員よろしいですか。

○三浦仁委員 協議の中で具体的な結論まで持っていくのか、方向付けにするのか、その考え方はどのように思っていますか。

○総務課長 この地域審議会が例えば諮問機関であれば、最終的に温海地域審議会ではこのような形で意見をまとめましたとなるのですが、この地域審議会はあくまでも皆さんからのいろんな意見を参考にしていきたいと考えております。

○本間文夫会長 ほかにございますか。佐藤副会長、お願いします。

○佐藤副会長 この地域審議会の課題には元気な地域づくりをするには、ということだと思います。われわれもそのために働く場・雇用の場とか、いろんな施設や交流の方法を考えています。最近、河北町の方に行ってきました。サクランボという一つ産物に関わって、働く人、大人から子供まで、家族そして親戚、いろんな人がサクランボを収穫している。そして子供たちもお父さんやおじいちゃんやおばあちゃんの働く姿を見ている。サクランボが荷傷みしないように津々浦々の農道まで全面舗装されている。それで宅急便が各畑まで入って全国津々浦々まで配達している。そういう姿を見ると活力があると感じました。また、観光サクランボ園なども交流も促進している。食堂やコンビニなどにも人がいっぱいいて、やはり地域の固有産物・産業を活かせれば地域の活性化につながると感じました。ぜひ林業や農業、漁業、観光も、そういう

形になればと、ただ単に林業だけでなく、全体的な中でなんらかの方法があればという意見です。

○本間文夫会長 温海地域も夢物語だけではなく、どんな時代になっても意気込みだけは必要だと思っております。ほかに委員の皆さんございませんか。本間満委員お願いします。

○本間満委員 今の話ではこの審議会が提言を聞くだけで終わるような感じで、物足りないと感じます。ここの中から1つでもいいから、来年度に市がその事業を実施して地域を良くしてもらいたい。単なる夢物語みたいな答申や意見交換で終わらないようにしていただきたい。

○本間文夫会長 ほかにございませんか。柴田実委員お願いします。

○柴田実委員 商工会では昨年度から花咲く里山運動を10年間にわたって取り組むことになりました。今年が2年目です。福島とかの真似をするわけではありません。温海地域特有の花の里山づくりに向けて、貸してくれる土地を求めています。ぜひとも皆さんにこういうところが空いているよ、使ってみたらどうだと、いうことがありましたら、商工会に情報提供していただきたい。温海地区には大変すばらしい観光の場所があります。ぜひとも皆さんもう一度自分の故郷を愛する意味でも、ぜひとも情報を提供していただきたい。

○本間文夫会長 温海の良さ、価値を知らせる活動に取り組みたいということでございます。季節のうるおいが感じられる景観づくりといたしますか、花もいっぱい植えるという意気込みでございます。大変いいことだと思っております。そのほか委員の皆さん、ありませんか。無いようでしたら、意見も出尽くしたようでございますので、温海地域審議会協議テーマは別紙2のとおりでよろしいでしょうか。異議がなければこのように決定したいと思います。皆さんよろしいですか。反対意見もないようでございますので、このように決定させていただきます。

○本間文夫会長 それではその他について事務局より何かございましたらお願いします。

○総務課長 特にありません。

○本間文夫会長 特にないようですので、以上で議事を終了いたします。どうもありがとうございました。

○総務課長 どうもありがとうございました。今回テーマを決めていただきましたので、次回から統計資料や温海の現状も含めながら資料を提出したいと思います。

7. その他

○総務課長 それでは全体の7番その他ということで、こちらからは特に連絡事項はございませんが、皆さんから何かありましたら。特に無かったら、これをもちまして本日の温海地域審議会を終了させていただきます。委員の皆さまどうもありがとうございました。

8. 閉会（午後3時35分）（総務課長）